【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年10月18日(2007.10.18)

【公開番号】特開2007-222642(P2007-222642A)
【公開日】平成19年9月6日(2007.9.6)
【年通号数】公開・登録公報2007-034
【出願番号】特願2007-62652(P2007-62652)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　1/00　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　5/07　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　1/00　３２０Ｂ
Ａ６１Ｂ　5/07

【手続補正書】
【提出日】平成19年8月23日(2007.8.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
人又は動物の体腔内において検査、治療又は処置を行うカプセル型医療装置において、
カプセル本体と、
このカプセル本体に着脱自在に取り付け可能であって、該カプセル本体の比重を調整するための複数種類の異なる比重の比重調整手段と、
を具備し、
前記カプセル本体は、体腔内に入れられた液体に対して前記比重調整手段によって比重を略等しく、重く或いは軽くなるように調整可能としたことを特徴とするカプセル型医療装置。
【請求項２】
前記比重調整手段は、前記カプセル本体に対して螺合又は嵌合手段によって着脱自在に構成されていることを特徴とする請求項１に記載のカプセル型医療装置。
【請求項３】
前記比重調整手段は、重量の異なるものを複数用意し、その中から何れかを選択して前記カプセル本体に取り付けることによって比重を調整可能としたことを特徴とする請求項２に記載のカプセル型医療装置。
【請求項４】
前記カプセル本体に磁気スイッチを内蔵して該磁気スイッチに複数の電気回路を接続し、前記磁気スイッチに近接した位置の前記カプセル本体に磁石収納部を形成して磁石ユニットを該カプセル本体の外部から収納可能とし、 該磁石ユニットを前記カプセル本体の外部から磁石収納部に収納したとき、該磁石ユニット磁石によって前記磁気スイッチを作用させて、前記電気回路をオンさせるカプセル型医用装置であって、
前記比重調整手段として前記磁石ユニットを用いたことを特徴とする請求項１に記載のカプセル型医療装置。
【請求項５】
前記カプセル本体に形成した磁石収納部の内周に雌ネジを設ける一方、前記磁石側の外周に前記雌ネジに螺合する雄ネジを形成し、該磁石側の雄ネジを前記磁石周の部の雌ネジ

に螺合して磁石収納室に収納することを特徴とする請求項４に記載のカプセル型医療装置。

【請求項６】
前記磁石は、前記カプセル本体に形成した磁石収納部に嵌入方式で収納固定可能としたことを特徴とするカプセル型医療装置。

【請求項７】
前記磁石収納部は、カプセル本体の後部に形成し、該カプセル本体の前記磁石収納部に収納固定した磁石の磁力によって回収具の吸着部を吸着させて、該カプセル本体を前記回収具を介して回収可能にしたことを特徴とする請求項４ないし７の何れか１つに記載のカプセル型医療装置。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明は、上述した点に鑑みてなされたもので、体腔内に入れた液体の比重に対して略等しく、軽く或いは重くなるように当該カプセル型医療装置の比重を使用時に調整することができ、比重を略等しく調整した場合にはカプセル型医療装置の体腔内での移動速度を速くすることが可能であり、比重を重くした場合には前記液中でその場に止まり易くして詳細な観察を可能とし、比重を軽くした場合には前記液体に当該カプセル型医療装置を浮かせて該液体の上面の観察を可能としたカプセル型医療装置を提供することを目的とする。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
前記目的を達成するため本発明の一態様によるカプセル型医療装置は、　人又は動物の体腔内において検査、治療又は処置を行うカプセル型医療装置において、
カプセル本体と、
このカプセル本体に着脱自在に取り付け可能であって、該カプセル本体の比重を調整するための複数種類の異なる比重の比重調整手段と、
を具備し、
前記カプセル本体は、体腔内に入れられた液体に対して前記比重調整手段によって比重を略等しく、重く或いは軽くなるように調整可能とした。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明によれば、体腔内に入れた液体の比重に対して略等しく、軽く或いは重くなるように当該カプセル型医療装置の比重を使用時に調整することができ、比重を略等しく調整

した場合にはカプセル型医療装置の体腔内での移動速度を速くすることが可能であり、比重を重くした場合には前記液中でその場に止まり易くして詳細な観察を可能とし、比重を軽くした場合には前記液体に当該カプセル型医療装置を浮かせて該液体の上面の観察を可能にできる。